



玉名市立滑石小学校

— 令和元年度 School Pride —
学級数 9 学級 児童数 118 人

玉名市小中一貫教育・・・玉名市は全小中学校で小中一貫教育を進めています。

玉名中学校区 のめざす 子ども像

玉名中学校区の教育目標

「未来を切り拓く児童生徒の育成」

- 主体的に学習に取り組み、確かな学力を身に付ける子ども
- 感謝、思いやりをもって行動できる子ども
- 強い意志とたくましい体力を備えた心身ともに健康な子ども

1 滑石小のプライド・・・地域に見守られ地域に誇りをもって育つ子どもたち



「滑石」という地名のいわれ・・・菊池川が干満差日本一の有明海に注ぐ河口に位置する地域である。この地域あたりで菊池川の上流から流された石が丸くなり、有明海から打ち寄せる波でさらに丸く滑らかになったため という説がある。

地域とともにある行事・・・「運動会」「滑石ふれあいデー」「どんどや」等々子どもたちは、地域の方に見守られながら、成長しています。

地域あげての運動会 ～老人会も消防団も区長さんも、もちろんお父さんやお母さんもみんなが参加する滑石小支館運動会 ～みんなが輝いた一日 5月26日

多くの地域の方々に見守られながら、今年も滑石小運動会が無事に終了しました。「最高のチームワークで 一生けん命最後まで 燃えろ！！赤団白団」をテーマに練習から本番まで、精一杯頑張りました。演技・競技はもちろん、6年生のリーダーシップ、各学年のチームワーク、集団行動など、大きく成長した子どもたちです。地域あげての運動会は、最高に盛り上がりました！



開会式では、地域の方々、保護者に見守られて、やる気が高まりました。地域の方が毎年楽しみにされている「よさこいソーラン」も披露。大きな拍手をもらい、自信につながりました。

地域学習～干潟の恵みに感謝しながら、伝統のシャク釣り、貝掘り体験～6月3日

今年も滑石漁協の全面協力により「シャク釣り・貝掘り大会」を行いました。今年は、全学年の児童で参加。ボランティアとして参加してくださった保護者や地域の方々と一緒に自然体験活動を楽しみました。シャク釣りもアサリなどの貝掘りもたくさん捕るにはコツが大切！経験豊富な地域の方々のアドバイスに耳を傾けながら、真剣に取り組む子どもたち。シャクをつり上げた子どもたちの満面の笑顔が光りました。滑石の素晴らしい自然を満喫です。



釣ったシャクを手到大喜びの子どもと保護者。地域の名人さん、漁協の方々、海の恵みに感謝です！

2 学校の教育目標

令和元年度学校経営理念 根を育て夢を育む

本校の教育目標：心豊かで、よく考え、心身ともにたくましい滑石っ子の育成

「根を育て夢を育む」～生きる力の土台を築き、子どもの夢を叶える～

- ① 徳「心豊か」（いじめや差別、仲間はずしをしない。爽やかな挨拶、明るい返事、機敏な動作）
- ② 智「よく考え」（学び合いの授業、まとめと振り返り、ユニバーサルデザインの視点と合理的配慮）
- ③ 体「心身ともにたくましい」（ルールやきまりの遵守、凡事徹底、くじけない、あきらめない）

3 滑石小学校がめざす具体像・・・自信と誇りをもった滑石っ子

目指す学校像 ○安心・安全な学校

目指す児童像 ○爽やかな挨拶 明るい返事 機敏な動作ができる子

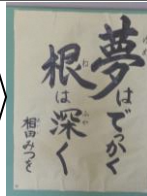
目指す教師像 ○率先垂範する教師

- やさしく、心豊かな子ども
- よく考え、くふうする子ども
- 明るく、たくましい子ども
- 郷土を知り、愛する子ども

校内研
では

研究主題：求められる資質・能力を育む学びの創造
～自分の思いを豊かに表現する子どもの育成～
仮説1：「対話」を重視した学習過程の展開
仮説2：表現力の向上を図る日常指導の場の設定を工夫

玄関の
掲示



4 教育活動の実践

- ① 心豊かな児童の育成のために・・・「さわやかライン」での挨拶やなかよし掃除など異学年の交流を深め、みんなが笑顔で居心地のいい学校づくりを行います。
- ② よく考える児童の育成のために・・・国語科を中心にしながら、各教科で対話を重視した学習を展開し、まとめや振り返りを自分の言葉で言える（書ける）力をつけようと日々の授業に取り組みます。
- ③ 心身ともにたくましい児童の育成のために・・・交通教室や避難訓練、運動会などの行事でルールの遵守や粘り強く頑張る子どもを育てます。

実践1「さわやかライン」で気持ちのいい挨拶（写真①）

班長の号令で揃って気持ちのいい挨拶をすることをめざして始めた「さわやかライン」の取組。「おはようございます」の音が響くようになりました。帰りも玄関に向かって一礼後、「ありがとうございました。」の声で校舎を後にする子どもたちです。

実践2「なかよし掃除」で心も学校も美しく

6月は「なかよし掃除」を行っています。上級生が下級生をリードし、掃除の仕方を教えます。「なかよし掃除をすると掃除の仕方がぐんと上手になります」という低学年の担任からの声も聞かれるほほえましい活動です。

実践3「対話活動」で学び合う姿

今年も全学年で授業研を実施。玉名中学校区にも公開授業の案内をし、小中一貫教育を目指します。国語科を中心に対話活動を重視した授業改善に努めています。（写真②）

実践4「わくわくタイム」で基礎基本の定着を

今年度もあすなろ会（保護者ボランティア）によるわくわくタイムの丸付けボランティアを実施しています。計算問題にたくさん取り組み、基礎的基本的事項の定着を図ります。

実践5「根っこタイム」で心の根、学びの根、体の根を

昼休み後の集会「根っこタイム」では、児童会が司会をして、心の根、学びの根、体の根を育む取組を行っています。6月は、「すなお」について、7月は、よりよい「朝自習」について考えを深める話し合いをしました。（写真③）



写真①



写真②



写真③

他にも地域のボランティアの方に登下校の際に一緒に歩いていただいたり、老人会の方と芋苗植え、芋掘り、昔遊び体験をしたり、地域の方に見守られながら元気に育っています。8月の「なめいしふれあいデー」では地域の方をお招きし、「青少年健全育成大会」意見発表も行います。